

第2回生物試料分析科学会中国四国支部学会の御案内（第二報）

愛媛大学大学院医学系研究科システムバイオロジー部門
病態解析学講座法医学分野
西 向 弘 明

このたび第2回生物試料分析科学会中国四国支部学会を、愛媛県松山市において開催させていただくことになりました。皆様方の多数の演題申し込みと御参加を、心よりお待ちしております。

1. 日 時

平成19年8月11日（土） 14時00分～16時40分（予定）

2. 会 場

東京第一ホテル松山

〒790-0006 松山市南堀端町6-16

Tel. (089) 947-4411（代表）、 Fax. (089) 947-4420

3. 参加申込および参加費

参加申込は平成19年6月1日（金）～6月29日（金）の期間に、Eメールでお知らせ下さい（abs2cs@m.ehime-u.ac.jp）。Eメールが不可能な場合、葉書または封書で申込をして下さい（宛先は下記の5. 抄録送付先を参照）。参加費は1,000円で、学会当日にお支払い下さい。

4. プログラム予定

14時00分～15時30分 一般演題-----一般演題予定(募集中)

15時40分～16時40分 特別講演 生物試料分析科学会会長 北里大学大学院医療系研究科准教授
小川善資 先生
演題「当直時、異常な検査結果を報告できますか?」

5. 抄録（一般演題、話題提供）募集期間

平成19年6月1日（金）～6月29日（金）

6. 抄録送付先

抄録はEメールでお送り下さい。

E-mail: abs2cs@m.ehime-u.ac.jp

Eメールが不可能な場合、プリントしたものを下記にお送り下さい。

〒791-0295 愛媛県東温市志津川

愛媛大学医学部法医学分野内

第2回生物試料分析科学会中国四国支部学会事務局

7. 抄録の記載要領

標題、著者の所属（正式名称）と著者名（発表者に○印を付ける）、抄録本文の順に記載して下さい。抄録本文の字数は400字～500字とし、【目的】、【方法】、【結果】、【考察】等に分けて下さい。

8. その他

一般演題および話題提供の講演時間は7～10分間、質疑応答は2分間を予定しています。発表形式はPCプレゼンテーションです。宿泊を東京第一ホテル松山でされる場合、割引価格が適用される予定です。